

## 第5 世帯の就業状態

### 1 世帯主の就業状態、年齢階級別世帯数

「世帯主が有業」の世帯は、全ての年齢階級が増加

「世帯主が無業」の世帯は、「65歳以上」が増加

「世帯主が有業」の世帯は500万1千世帯で、平成24年と比べると42万7千世帯増加している。

年齢階級別にみると、「35～64歳」308万6千世帯が最も多く、次いで「15～34歳」125万7千世帯、「65歳以上」65万8千世帯となっている。平成24年と比べると「35～64歳」は19万7千世帯、「15～34歳」は9万2千世帯、「65歳以上」は13万8千世帯、全ての年齢階級で増加している。

また、「世帯主が無業」の世帯は192万6千世帯で、平成24年と比べると1万5千世帯増加している。

年齢階級別にみると、「65歳以上」145万3千世帯が最も多く、次いで「35～64歳」28万世帯、「15～34歳」19万3千世帯となっている。平成24年と比べると「65歳以上」は11万4千世帯増加しているのに対し、「35～64歳」は8万1千世帯、「15～34歳」は1万8千世帯、それぞれ減少している。

(表5-1、都道府県編第87-1表)

表5-1 世帯主の就業状態、年齢階級別世帯数

(単位 千世帯)

	平成29年			平成24年			増減数		
	総数	世帯主が有業	世帯主が無業	総数	世帯主が有業	世帯主が無業	総数	世帯主が有業	世帯主が無業
総数	6,974	5,001	1,926	6,499	4,574	1,911	474	427	15
15～34歳	1,450	1,257	193	1,376	1,165	211	74	92	△18
35～64歳	3,366	3,086	280	3,250	2,889	361	116	197	△81
65歳以上	2,111	658	1,453	1,859	520	1,339	252	138	114

## 2 世帯主の就業状態別世帯所得

「世帯主が有業」の世帯所得 500 万円以上が半数以上

「世帯主が無業」の世帯所得 300 万円未満が半数以上

世帯所得を世帯主の就業状態別にみると、「世帯主が有業」の世帯では、世帯所得が「1,000 万円以上」97 万世帯（構成比 19.4%）が最も多く、次いで「700～999 万円」91 万 4 千世帯（同 18.3%）、「500～699 万円」89 万 7 千世帯（同 17.9%）となっており、500 万円以上の世帯が半数以上を占めている。

また、「世帯主が無業」の世帯では、世帯所得が「200 万円未満」72 万世帯（同 37.4%）が最も多く、次いで「200～299 万円」31 万 4 千世帯（同 16.3%）となっており、300 万円未満の世帯が半数以上を占めている。

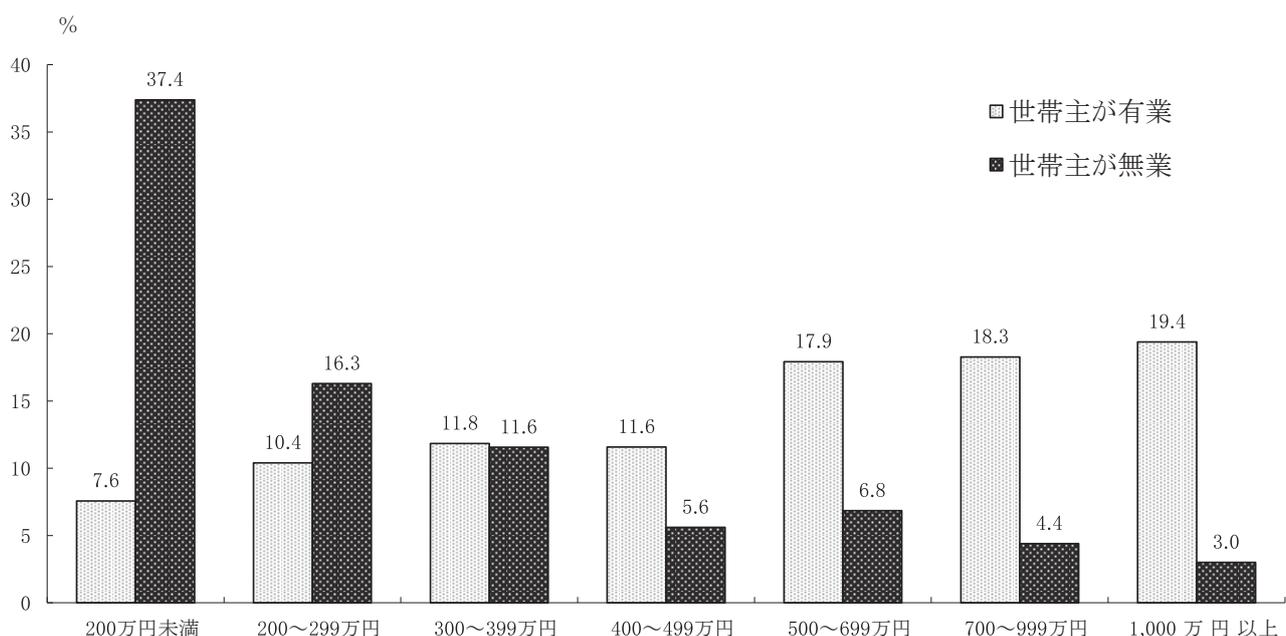
（表 5-2、図 5-1、都道府県編第 88 表）

表5-2 世帯主の就業状態、世帯所得別世帯数

（単位 千世帯、%）

区 分	世帯数			構成比		
	総数	世帯主が有業	世帯主が無業	総数	世帯主が有業	世帯主が無業
総数	6,974	5,001	1,926	100.0	100.0	100.0
200万円未満	1,099	379	720	15.8	7.6	37.4
200～299万円	835	520	314	12.0	10.4	16.3
300～399万円	815	592	223	11.7	11.8	11.6
400～499万円	688	580	108	9.9	11.6	5.6
500～699万円	1,030	897	132	14.8	17.9	6.8
700～999万円	999	914	85	14.3	18.3	4.4
1,000 万円 以上	1,027	970	58	14.7	19.4	3.0

図5-1 世帯主の就業状態による世帯所得の分布



### 3 世帯の家族類型別所得

#### 一般世帯の世帯所得 500 万円以上が 6 割以上

#### 単身世帯の世帯所得 400 万円未満が 5 割を超えている

一般世帯（住居と生計をともにしている二人以上の集まり）では「1,000 万円以上」は 86 万 7 千世帯（構成比 23.5%）、次いで「700～999 万円」は 76 万 5 千世帯（同 20.7%）、「500～699 万円」は 63 万 8 千世帯（同 17.3%）などとなっており、500 万円以上の世帯が 6 割以上を占めている。

一般世帯を家族類型別にみると、「夫婦のみの世帯」では、「1,000 万円以上」19 万 5 千世帯が最も多く、次いで「700～999 万円」18 万 6 千世帯、「夫婦と子供から成る世帯」では、「1,000 万円以上」48 万 8 千世帯が最も多く、次いで「700～999 万円」39 万 1 千世帯などとなっている。

また、単身世帯では、「200 万円未満」86 万 6 千世帯（同 26.4%）が最も多く、次いで「200～299 万円」53 万 9 千世帯（同 16.4%）、「300～399 万円」43 万 9 千世帯（同 13.4%）となっており、400 万円未満の世帯が 5 割を超えている。

（表 5-3、図 5-2、都道府県編第 89 表）

表5-3 世帯の家族類型、世帯所得別世帯数

（単位 千世帯、%）

区分	総数	一般世帯	家族類型		単身世帯	構成比	一般世帯	単身世帯
			うち夫婦のみの世帯	うち夫婦と子供から成る世帯				
			総数	6,974				
200万円未満	1,099	232	92	24	866	15.8	6.3	26.4
200～299万円	835	296	150	37	539	12.0	8.0	16.4
300～399万円	815	377	179	80	439	11.7	10.2	13.4
400～499万円	688	327	123	113	361	9.9	8.8	11.0
500～699万円	1,030	638	173	298	391	14.8	17.3	11.9
700～999万円	999	765	186	391	234	14.3	20.7	7.1
1,000万円以上	1,027	867	195	488	161	14.7	23.5	4.9

図5-2 一般世帯及び単身世帯の世帯所得別分布

